

# 水の見える家

Water Conscious HOUSING SYSTEM

地球上の水の97.5%は、海水。

私たちが生きていくのにも、生活していくうえでもなくてはならない“水”  
私たち日本人は、この“水”が限りなくあるものだと思っている人が多数なのではないでしょうか。しかし、わたしたちが使用できる水には限りがあり、大切に使うなければならないものだったの

私たちが使用できる  
水の割合

地球上に存在する水の総量

海水(塩水) 97.5%

約1,386,000,000立方キロメートル

約0.0001%は約1,386立方キロメートル

## 水の惑星・地球

淡水

0.025%

約3,500立方キロメートル

氷山

68,750

氷河

1,000,000

湖

1,200,000

川

119,000

約0.000001%

約0.00000001%

約0.0000000001%

約0.000000000001%

約0.00000000000001%

約0.0000000000000001%

約0.000000000000000001%

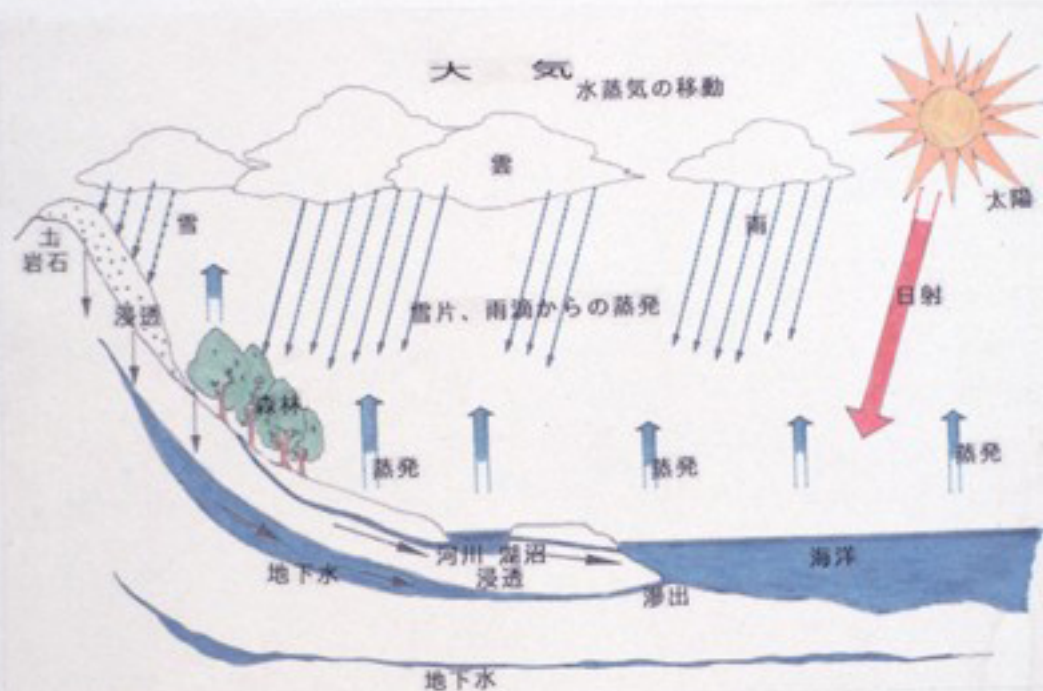
「地球は水の惑星なのだから水ならたくさんあるのでは??」 NO!!

地球上にある水の97.5%は海の水がもめています。人間が普通に利用できる淡水の量は約3,500億k m<sup>3</sup>。それとても現実には利用上いろいろな制約があり実際、日常的に利用しやすい水の量は十分の一の約350億k m<sup>3</sup>とされています。

それらを考え、

水をたいせつに考える住まいの在り方、ハウジングシステムについて提案します。

地球の水はほとんどすべて始めも終わりもなくたえず循環しています。



水循環の図

水に限らずすべての物質は循環しています。汚れた水を川や海に流せばその汚れは形を変えて私たち自身に戻ってきます。一度汚れてしまった水を元に戻すには莫大の時間とお金がかかります。

そしてこの水循環の中でも私たちが使用しているのはごく一部にすぎません。海水を日常生活に使うというのは無理なので、生物は淡水に依存するしかほかありません。だから水というのは不可欠の物質となっているのです。

水は最も大切な資源の一つです。人間がこのまま使い続けていったらいつの日か、きれいな水はなくなってしまおうでしょう。

.....きれいな水を残すため私たちは、水の見える家を提案します。

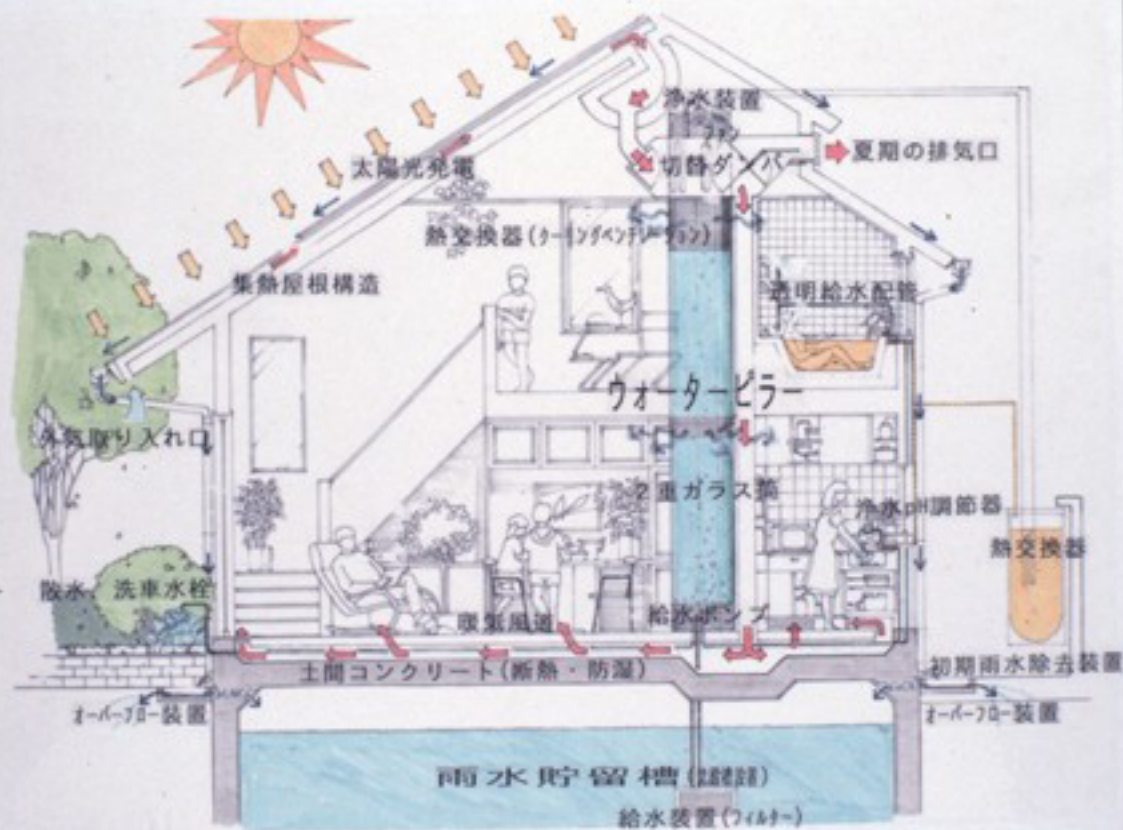
# 水の見える家

Water Conscious HOUSING SYSTEM

No. 3

生命体にとって不可欠の水を私たちはもっと意識することが必要です。

そこで住宅の中で生活が水といかに密接に関わりあっているか、使われる水の流れが見えるような、さらには自然環境の中から水を取り入れ利用し、それを浄化し自然に返す暮らしの在り方を提案したいと思います。



- ★ 私たち日本人一人当りの一日に使用する水の量は200ℓといわれています。平均的な家族数を4人とした場合、1世帯平均約800ℓ/日必要になります。
- ★ モデルタイプの住宅の規模を敷地300㎡、受水面積240㎡として貯水量の算定をします。
- ★ 年間平均降水量1200mm、受水量は288㎡確保出来、ほぼ年間必要量を満たせます。
- ★ 建物の地下に雨水貯水槽：300㎡程度の規模で設置します。採取された雨水は一度地下の貯水槽に集められ浄水装置を経てウォータービラーに送られます。
- ★ 個々の使用箇所では使用目的に応じ殺菌、浄水、pH調節されます。

☆ 個人下水道の処理に関しては今は合併浄化槽を想定し、今後研究して行くべき課題と考えます。

# 水の見える家

Water-Conscious HOUSING SYSTEM

No. 4

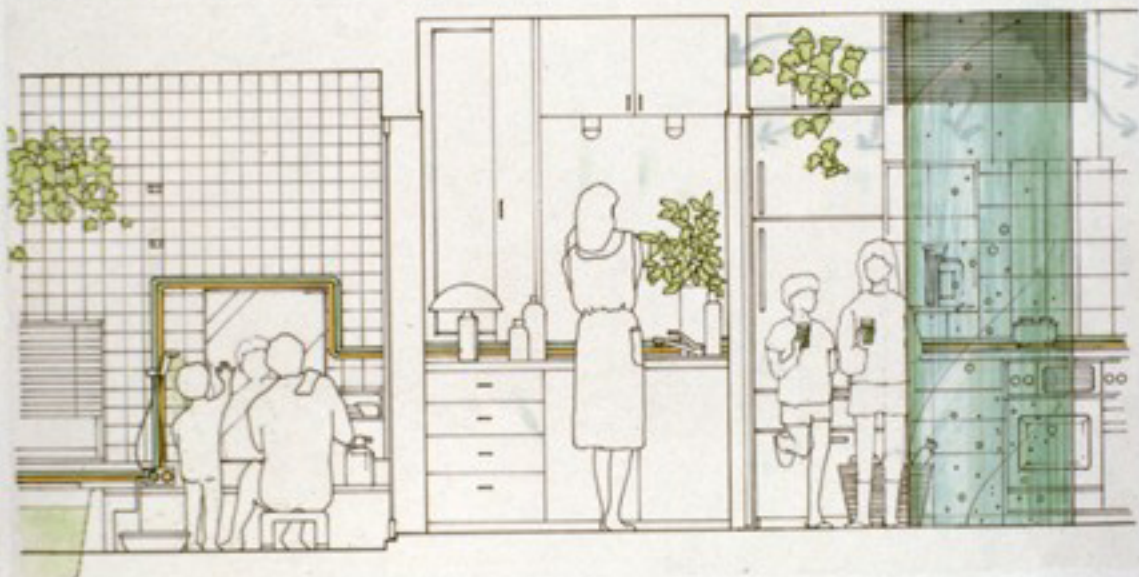
## 私たちの提案した『ウォーターコンシャス・ハウジングシステム』

『雨水が浄化されて室内に送られ私たちが生活用水として使った後、ハウス内で浄化され庭を通して自然に返される』という、まさに水が循環しているものであるということを感じることのできるハウジングシステムだといえます。

水は限りがあり何度も循環されて私たちは利用している、大切な、大切に扱わなければならない資源なのです。

しかし私たちはそのことを忘れてしまっているのではないのでしょうか・・・？

私たちは水に頼りきって生活をしているのだということを忘れていないのでしょうか・・・？



この家で生活することによって、その大切さをもう一度思い出すことができます。

『ウォーターコンシャス・ハウジングシステム』とともにこれからの水の在り方についてももう一度考えて見て下さい。

◇ 未来の地球のために・・・◇